

『ウイズコロナ・ポストコロナの山形県を展望するための資金・人材に関する懇談会』 開催趣旨

- ウィズコロナを乗り越え、ポストコロナの山形県経済の発展を展望するためには、県内企業の業態転換等をはじめ、生産性向上、経営戦略の見直しといった本県経済構造の刷新が不可欠
- 金融機関・公的支援機関と自治体とが連携し、本県経済の課題を、主に資金面・人材面から協議
- この懇談会では、上記問題意識に基づき、情報共有や具体的な対応の方向性を討議するもの

「新型コロナ克服・創造山形県民会議」における 山形県銀行協会会長の発言要旨

（6月11日 第9回）

金融界としては、資金繰り支援の継続に加え、ポストコロナにおける業態転換の支援にも着手すべきタイミングととらえております。

（8月27日 第10回）

金融界としては、お客様の資金繰り、支援の継続に加えて、ポストコロナを見据えたビジネスモデルの見直しの相談や経営改善支援にも着手しております。

（11月9日 第11回）

個人消費は、消費マインドが低迷し一進一退の動きとなっています。

コロナ禍による行動変容の結果、家計支出が強く抑制されたことで、逆に暮らし向きが押し上げられ、経済対策の実施による効果が期待できる状況になってきたと思っています。

協議内容及び進め方について

第1回 12月6日(月)

- (1) 開催趣旨について
- (2) 本県経済の現況と当面及び将来の対応の方向について ①

第2回 12月14日(火)

- (1) 本県経済の現況と当面及び将来の対応の方向について ②
- (2) その他